

農業委員・農地利用最適化推進委員による 「農業よろず相談会」開催

仙台市農業委員会では、農業委員と農地利用最適化推進委員が農地パトロール等の活動を共にする「区域活動」を、市内14の区域で行っている。

その中の一つ、約300haの農地を有する宮城野区岩切・原町は、近年、JR貨物駅の移転や、近隣で区画整理事業が始動するなど、農地のかい廃が進み変貌しつつある。



この区域で活動する5人の委員の内の一人、岩切区域の赤間敬農業委員は「高齢化による担い手不足がこの区域でも深刻だ」と懸念する。そこで、今年7月から区域活動の一環として新たに「農業よろず相談会」を企画した。

毎月第2火曜日、JAの支店の一室を借りて開催。農地の賃貸借・相続の手続き、農業者年金制度など、農業と農地に関することならなんでも受け付ける。初回は、農地の賃貸借等3件の相談があった。赤間委員は「この相談会を、人・農地プランの実質化につなげていきたい」と抱負を語り、区域の関係者からは今後の活躍が期待されている。